



技術セミナーのご案内

フィールド通信技術セミナー 「FDT 技術セミナー」 －FDT: 開発者向けコース－

主催 IONL 産業用オープンネットワーク・ラボラトリー
共催 FDT グループ日本支部、早稲田大学理工学術院総合研究所
開催日 2020年11月12日(木) 10:00～16:40
会場 ZoomWebinar によるオンライン開催
(ZoomWebinar は Web ベースでも使用いただけます)
受講料 無料 (事前登録制)

参加登録方法 以下の Web ページにあるお申し込みページよりご登録ください。

<http://www.fdt-seminar.jp/>

(2020年10月21日(水)から登録開始を予定しています)

※ご登録は本ご案内文書 P2 記載の注意事項に従い入力をお願いします。なお、システムでの受付のため直前まで申込可能です。

早稲田大学理工学術院総合研究所 産業用オープンネットワーク・ラボラトリーは、早稲田大学 喜久井町キャンパス(東京都新宿区)において、FDT 技術や開発方法習得を中心としたセミナー「FDT 技術セミナー」を開催いたします。

FDT 技術は、プロセスオートメーション(PA)・ファクトリオートメーション(FA)を含め様々なネットワークが存在する環境においても、現場機器の管理を、ベンダや通信プロトコルの垣根を越えて統合するソフトウェア技術です。近年では、製造業の情報化・高度化の状況のもと Industrial IoT の要素技術として FDT 技術が注目されています。このセミナーでは、FDT 体験セミナーを受講され、さらに FDT 技術を習得されたい方、また FDT/DTM を開発されたい方、または開発を検討されている方向けに、FDT 技術概要および FDT/DTM 開発手法についてご紹介いたします。

セミナーの最後には個別 Q&A の時間が設けてあります。是非ご活用ください。

FDT 技術セミナー プログラム

時間	内容
10:00	開場・受付開始
10:00~10:05	セミナー概要説明
10:05~12:05	講義 1:FDT 仕様の解説 FDT 仕様、DTM Style Guide、Annex 等の概要
12:05~13:05	昼食
13:05~13:55	講義 2:DTM 開発手順 開発準備～認証テストまでの流れを解説
13:55~14:25	講義 3:FDT3 仕様リリースと FDT3 認証
14:25~15:00	講義 4: FDThub～認証された DTM を単一の保管庫で管理
15:00~15:20	休憩
15:20~15:50	講義 5:FDT のセキュリティへの取り組み
15:50~16:20	講義 6:通信 DTM の開発事例のご紹介
16:20~16:40	全体質問、アンケート回答
16:40	閉場

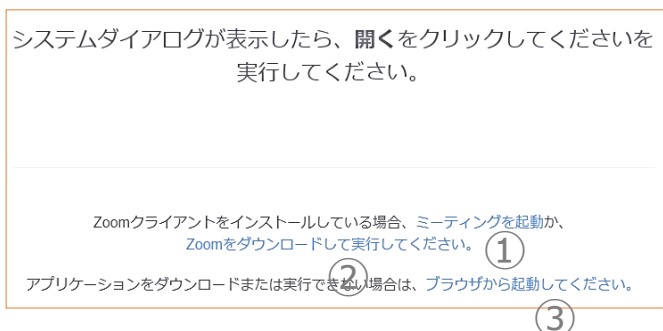
※ プログラムの内容はお断りなく変更する場合がありますのでご了承ください

ご登録、ご参加に際しての注意事項

- (1) 質問への対応のために、事前に氏名とメールアドレスに加えて所属の登録をお願いいたします。
- (2) 参加登録すると、セミナー参加用のリンクが登録メールアドレスに送られてきます。セミナー当日は参加用リンクをクリックしてご参加ください。
- (3) 参加用リンクはご登録した方専用となっております。他の方がご使用なされる場合は、別途ご登録をお願いいたします。

(4) 接続方法

- ① 事前登録後にメールで送られてきた「ここをクリックして参加」のリンクをクリックすると、ブラウザに以下のようなページが表示されます



- ② Zoom アプリがインストール済みであれば、自動的に立ち上がります。Zoom が起動しない場合は①をクリック

する

③Zoom アプリをインストールする場合には②をクリックする(この場合は早めに準備を開始してください)

④ブラウザから参加する場合は、③をクリックする。(映像の遅延が大きい場合がありますので、Zoom アプリからの参加を推奨します)

⑤回線品質:映像や音声の途切れなどが発生する場合がありますので、できるだけ有線での接続を推奨致します(ネットワーク、スピーカー、マイク等)

⑥開始時間の間際は回線が込み合いますので、余裕を持って開始 10 分前から参加して頂けると助かります。

(5)配布資料

参加登録時に URL をご案内します。

(6)録画データ

ライブ映像を正常に視聴できない場合に備え、録画データ URL を開催後にご案内予定です。視聴期間は 1 週間を予定しています。

(7)今後のセミナーの内容充実のため、アンケートの記入をお願いしております。お手数ですがセミナー受講後、ご回答ください。参加登録時に URL をご案内します。

(8)セミナーを録音・録画・ストリーミングすることはお控えください

以上